

令和3年度下水道事業経営方針及び予算の概要

【経営方針】

下水道事業は、取りまく環境の変化により使用料収入の減少が見込まれる一方、今後、耐用年数を迎える施設が増加することにより、施設の改築更新・維持管理に多額の費用を要することが見込まれています。

平成30年度に策定した浦添市公共下水道事業経営戦略に示した5つの基本方針「下水道の安定経営」、「下水道機能の維持・向上」、「災害対策」、「効率的整備」、「下水道資源の利活用」を柱に事業を推進してまいります。また、令和2年度から地方公営企業法を適用し、公営企業会計へ移行を行い、経営状況の的確な把握が出来るようになりました。

今年度の事業概要として、効率的で適切な施設の改築・更新、維持管理を進めて行くために、浦添市下水道施設長寿命化(ストックマネジメント)計画の作成に取り組みを始めます。工事関係は、区画整理地区における下水道施設の新設工事及びポンプ場の改修等を予定しております。

引き続き、市民が安心して快適な生活を営めるよう、良好な生活環境の維持と公共用水域の水質保全のため、より一層の経営の健全化に努めます。

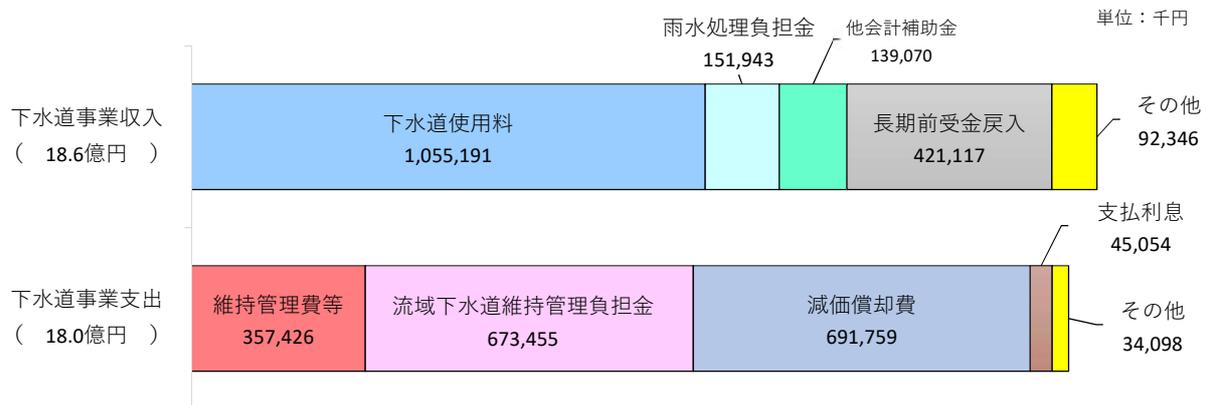
【予算の概要】

(収益的収支)

収益的収支とは、当該事業年度の企業の経営活動に伴い発生する収益と費用の状況を表したものです。

収入の主な財源は、汚水処理事業は利用者の皆様からお支払いいただいた使用料等で運営されており、雨水処理事業は一般会計からの負担金で運営されています。

費用の用途は、管路の修繕や職員給与費等の維持管理費、流域下水道汚水処理負担金に使われています。



(資本的収支)

資本的収支とは、主として将来の営業活動に備え、下水道施設の建設改良費やその財源となる収入を表したものです。

収入の主な財源は、企業債や国庫補助金等で運営されています。

支出の用途は、下水道施設の整備に係る建設改良費、流域下水道建設負担金、企業債の償還金に使われています。

